

各位

遠鉄ストア×静岡文化芸術大学 初の産学連携 学生による企業提案プレゼンテーションを開催

～学生が考える「地域に愛される地元スーパー」とは～

株式会社遠鉄ストア（本社：浜松市中央区佐鳴台、代表取締役社長：宮田洋、以下 遠鉄ストア）、遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中央区旭町、代表取締役社長：丸山晃司、以下 遠州鉄道）および公立大学法人静岡文化芸術大学（所在地：浜松市中央区中央、学長：佐々木雅幸、以下 静岡文化芸術大学）は、遠鉄ストアを題材とした授業課題を実施しています。

このたび、約 4 か月にわたる課題提案の集大成として、学生による企業への提案発表を開催します。当日は、遠鉄ストアの常務取締役および関係部門長が講評を行い、学生が導き出した提案について企業の視点からフィードバックを行います。

記

1. プロジェクト概要

静岡文化芸術大学デザイン学部の専門科目「インタフェースデザインⅡ」の一環として実施。

学生は実際に店舗へ足を運び、店舗見学や店長等へのヒアリング、利用者の行動観察を行い、3C 分析、ペルソナ設定、カスタマージャーニーマップ、課題抽出、コンセプト・アイデア創出、UI プロトタイプ制作まで、一連の UI/UX デザインプロセスを実践し、ユーザー視点から課題解決に取り組みました。

■ 現地調査の様子



2. 学生へ提示した企業課題

「地域の皆様に愛される地元スーパーであり続けるにはどうしたらよいか」

学生は、店舗調査や利用者の行動観察を通じて具体的な課題を発見し、生活者視点から解決策を検討しました。

3. プレゼンテーション概要

日時	2026年7月28日（火）16:20～17:50
会場	静岡文化芸術大学 279 教室
授業名	インタフェースデザインⅡ
担当教員	静岡文化芸術大学 デザイン学部 宮地 良治 准教授
対象	デザイン学部3年生 43名
内容	遠鉄ストアが提示した企業課題に対し、学生が調査・分析から導き出したアイデアを、実際に操作イメージのわかるスマートフォンアプリのプロトタイプ（画面デザイン）として制作。その課題解決案とデザイン提案を発表します。

4. 講評者

株式会社遠鉄ストア

常務取締役	池谷 航之介
販売促進部長	平井 賢太郎
経営企画部長	鈴木 将太

5. 本プロジェクトについて

本プロジェクトは、遠州鉄道 地域共創推進室が遠鉄グループにおける産学連携を推進する担当部署として企画・コーディネートを行い、大学と遠鉄ストアをつなぐ役割を担いながら実現した取り組みです。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

遠州鉄道株式会社 地域共創推進室
株式会社遠鉄ストア 経営企画部